

Next Step For Shikoku

田舎には
何もない？



田舎には「何もない」という考えはどこからきているんでしょう。かつての地方から都会への憧れは、買い物などの選択肢の多さによるものが大きかった。でも、今は昔と違って、地方にいてもパソコンで何でも調べられるし、買い物だってできます。そのうえ、自然が豊かで、物価は安く、魅力的な文化も残っている考えると、都会よりも地方の方がずっと豊かに生きられる気がします。



トム・ヴィンセント

1967年ロンドン生まれ。1996年に来日し、株式会社イージソースの役員兼クリエイティブディレクターなどを経て、2009年に株式会社トループネットワークスを設立。さまざまな企業のウェブや映像の仕事を手がける一方、多くの地域のプロジェクトに参加している。四国経済産業局が実施した「世界と日本に「四国らしさ」を探る基礎調査2010」での参画をはじめ、神山ではサテライトオフィスを開設し、コンテンツ制作も行っている。

四国の次の ステップは？



地域経済を元気にするために最も必要なのは、間違いなく「人」です。まず、四国4県を束ねた一つの島として、今後四国がどういう形になれば豊かでいいなと思えるようになるのかを、みんなで考える必要があるのではないのでしょうか。そのためには、仕方なくではなく、好きだから住んでいるという意識が大事。嫌なところばかりに目を向けていても、魅力的な場所にはならないでしょ。

好きだから住む

僕が何かをいいなと思う基準は、「もの」よりも「人」です。人の方に興味と関心と感動があつて、その人の態度や生活価値観、苦労やがんばりが見えると、いいなと感じます。その人を通して、その人が住む地域やコミュニティ、組織の魅力がどんどん見えてくる。日本中で素敵な人に会う度にすごいなと思うんですよ。もちろん、四国でもたくさん出会いました。そんな人がいる場所が強いですよね。



人

モノじゃなくて、

「四国びと」のヒントを探るうちに、そこからは四国がどう見えているんだろう？と気になってきました。
「四国びと」を立ち上げからサポートし、徳島にサテライトオフィスをもち、四国の地域や企業とも交流の深いトム・ヴィンセントさんに、「四国のこれから」について聞いてみました。



ありたかせんざんどう
有高扇山堂

紙産業が盛んな愛媛県四国中央市では、「伊予の水引」という和紙を使った飾り紐が伝統産業として受け継がれています。今回の対談場所となった有高扇山堂は伝統的な技法を継承しながら、催事用だけでなく、箸置きやワインボトルサックなど、日常で使える様々な商品を作っています。商品づくりにはトムさんも携わっており、トムさんの運営するインターネットショップ「Loop to」にもラインナップされています。

有高扇山堂：http://aritaka.jp

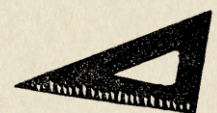
Loop to：http://loopto.com

地域の

S u s t a i n a b l e

持続可能な

ものさし
をつくる



たしかに地域を客観的に見ることは大事だけれど、僕も含めて(笑)ヨソ者は余計なことを言ってしまう時があります。責任を持たないから正直に言える部分もあるけれど、本当の事情を知らない場合もあります。外の目線だけに頼らず、地元の見線と上手く使い分ける必要があります。ヨソ者が去った後も、そこで気づいたことをSustainable (持続可能)なDNAとして維持していければいいですね。



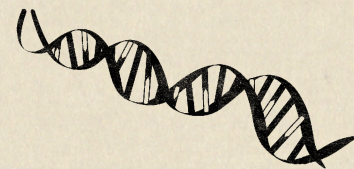
昨年からはじめた「四国びと」が、読者にとって、こんな四国になれば多くの人が喜ぶよねという「ものさし」を探し出すツールになればいいと思います。みんな、こうなりたい、こうありたいって何となく感じてはいるんですけど、上手く会話にできていない面があると思います。それって行政や企業はもちろん、個人にもあてはまることです。四国地域のSustainable (持続可能)なものさしをつくること。それが次のステップではないでしょうか。「四国びと」が1つの小さな窓になって、公の場と、民間の場と、個人の場が混ざりあっていく。それって強くて、大きな可能性を秘めていると思います。

持続可能な

S u s t a i n a b l e

DNA

として維持する



経済面だけで判断せずに、自分が暮らす地域の豊かさを認識することが必要ですね。それでも好きじゃない、不便だと感じる所は自分で変えていけばいいんです。向こうがいいな、じゃなくて、こっちをもっとよくしたい。この議論がこれからますます重要になってくるのではないのでしょうか。

数字だけでは
測れない豊かさ

背負うなら、
歩き続けられる
だけの荷物を



一方で、町おこしには加減が重要だと思います。小さな町ほど小さな変化でもすぐに全体に影響します。地域に外から人が来て関わりが生まれることはすごく良いことですが、背中にしよつてもちゃんと歩くことが出来る重さ、これが大切。ダンボールに荷物や本をいっぱい入れて、入った!と思ったら持ち上げられない(笑)そんな町おこしにはならないようにしたいものです。

